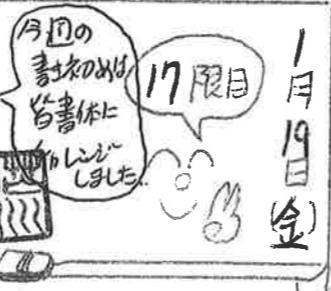


磨き合ラ



→ で、ここで学ばなきいかことがあります。このま、「(1)」がたで終わらせちゃうまいですよ。ここで質問です。
「このスタッフは、たまたま運が良くて、こんな大事な時に、こんなに(1)仕事ができたのでしょうか?」
今回のこのスタッフのした仕事は、人の人生を変えていきます。もちろん、そのとくあたる僕も嬉しかったと思いますが、
それ以上に、その親の人生を変えていると思うのです。みんなも子供をもてばわかるますが、自分の最後の
子供が亡くなったら、これほど悲しいことはありません。でも、その子が最後、笑顔で亡くなっていくのと、「あの
サイン帳どこにいらっしゃったのかな……」と悲しみながら亡くなっていくのとは全然違います。もし、あの「サイン帳」
がなかったら、お父さんとお母さんは、「なぜなくしてしまったんだろ?」「自分がちゃんと見ておけば……」と一生悔
やむことでしょう。自分を責め続けたことでしょう。でも、このスタッフのした仕事で、このお父さんとお母さんが
どれだけ救われたか……。まちがいなく、今後の2人の人生を変えていきます。本当にすばらしい仕事です。

大人になっていく君たちへ…

先週、ディズニーランドで、サイン帳をおとした親子の話をしたと思います。
そのお父さんからの手紙が、ディズニーランドに届いたのですが、その内容です。

(二人になれて
ほしいな その2)

先日は、「サイン帳」の件、ありがとうございました。実は、連れて来ていた息子は
脳腫瘍で、「いつ死んでしまうかわからぬ」…そんな状態の時でした。息子は、
物心ついた時から、テレビを見ても「パパ、ディズニーランドに連れて行ってね、『ディズニーランド行こう
ね』」と、毎日ののように言っていました。「もしかしたら、約束を果たせないかもしれない」…そんなとき
でした。「どうしても息子をディズニーランドに連れて行かげたら」と思ふ命が、あと数日で終わって
しまうかも知れないと、う時に、ぐりを承知で「息子をディズニーランドに連れて行きました」。

その息子が夢にまで見ていた大切「サイン帳」を落としてしまったのです。あの二用意して
頂いたサイン帳を息子に渡すと、息子は、「パパ、あ、たんだね! パパありがとう!」
と喜びました。 そう言しながら、息子は数日前に、息を引き取りました。
死ぬ直前まで、息子はそのサイン帳をながめては、「パパ、ディズニーランド楽しかったね!
ありがとう! また、行こうね、」と言ひながら、サイン帳を胸に抱えたまま、永遠の眠りにつきました。もし、あなたがあの時、あのサイン帳を用意してくれたなら、息子はこんなにも安らかな眠りにはつけなかたと思います。私は、息子は「ディズニーランドの星」になれた
と思っています。あなたのおかげです。本当にありがとうございました。

→

多分、その人は、普段からいつも、どんなときでも、誰に対しても、精一杯の
事をしていたんじゃないでしょうか? だから、こんな大事なときに、こんなに(1)
仕事ができたんじゃないでしょうか?

今回の話でも、散々探し見つからなかった「申し訳ござりませんでした。本当に一生懸命探したんです
が、どうしても見つかりませんでした。」この一言で十分です。お父さんも納得してくれたでしょう。
誰もせめたりしないと思います。でも、自分にできることは…と考え、サイン帳を置いた
行き、すべての部署を回って、サインを集めた。もちろん、仕事中、ヒマでやっているんじゃない
自分の仕事もたくさんあり、それを終えてから勤務時間外にそういうことをやるでしょう。
でも、「人が喜んでくれるんだから、それくらいのこと喜んでやります!」って
いう人だからこうした仕事ができたんじゃないでしょうか!?

みんなは確実に大人になります。何をしまくても社会に出ていく時はやります。
その時に、どんな大人になって社会に出るのか…。それは今の学生の時のすごしがで決ま
ります。仕事は社会に出て身につきますが、その人の**人格、性格**というものは、
思春期の今、身につくんですよ!! 「二人になりたい」と理想の自分を目指して下さい。
今、楽な道を選んでしまうと…。 人の喜びを自分の喜びに変える人になってしまいです!!

先週に引き続き
「私が一番うけた11コロの授業」
比田和孝著 から抜粋しました。

返信をよろしく
お願ひします。
返信用QRコード

